

田村市の文化財

『坂上田村麻呂②』

関教育部生涯学習課 ☎81・1215

今回は坂上田村麻呂（以下、田村麻呂）の生涯にまつわる伝説を紹介しました。

今回は市内に残る神社や寺院、地名にまつわる伝説を紹介いたします。

まず、地名に関する伝説として、田村麻呂が敵を見るために登った鞍掛山（田村麻呂の馬に鞍を掛けたことが由来）から矢を放ち、矢が山の肩をそれたことから片曾根山（船引）。白鳥に導かれ、大声を出して駆け行ったことに由来する地名・大越と欠入（いづれも大越。馬を洗ったところ）に由来する地名・馬洗戸（都路）。兵士を休ませたところに由来

する地名・休場と五十人山（いづれも都路）。亡くなった兵士を船に乗せ、川を引いてきたことに由来する地名・船引（船引）などがあります。

次に、戦勝祈願に関する神社・寺院の伝説として、菅谷神社（滝根）、一石寺（現存しない。大越）、天日鷲神社（都路）、山口観音（都路）、東鳥堂（現東鳥神社・船引）、明石神社（船引）などがあり、これらは苦戦を強いられる時に戦勝を祈願し建立したというものです。

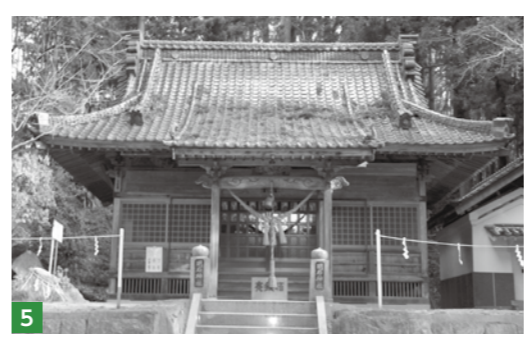
そして、戦勝御礼に関する神社・寺院の伝説として、白鳥神社（大越）、子松神社（常葉）、鹿山神社（常葉）、

日鷲神社（常葉）、堂山寺（現堂山王子神社・船引）などがあり、これらはスサノオノミコトや日本武尊の化身が、清水寺から授かった観音菩薩像の化身が白鳥や鷲などの鳥に姿を変え、田村麻呂軍を導き、戦いに勝つたので、それに対する御礼から建立したというものです。

また、兵馬の供養に関する神社・寺院の伝説として、亡くなった兵士や馬を供養するため、京都・清水寺の一定法師を迎えて開山したという慈心院（常葉）、船引川（大滝根川）に浮かべて引いてきた棺の一つを永久に保存するために建立したという

宝船寺（現存しない。船引）。このほか、田村麻呂建立伝説がある神社・寺院として、京都・鞍馬寺を模して建立したという入水寺（滝根）、剛叟寺（滝根）、峯霊神社（大越）、三渡神社（常葉）、大聖寺（船引）などがあります。

今回は、田村麻呂軍と戦った大多鬼丸など蝦夷側を主人公とした伝説にスポットをあてるとともに、歴史上の田村麻呂の生涯を紹介いたします。



1 菅谷神社（滝根） 2 白鳥神社（大越）
3 天日鷲神社（都路） 4 子松神社（常葉）
5 明石神社（船引）

今回は「坂上田村麻呂③」を紹介する予定です。
田村市の文化財一覧はこちら▶▶▶



地域おこし協力隊奮闘記



こんにちは。田村市地域おこし協力隊の岡崎です。

田村での生活も2年近くたち、この頃ようやく田村になれたところがあるかなと思っています。地名、裏道、訛（なまり）りと地元の方々と話が合うくらいになりました。それなりに充実していると思っています。

田村の面白い人たちとも出会いました。みんな熱い思いを持っていて「自分で何とかしてみよう」と行動を起こしています。田村が盛り上がりを見せていると感じるのに十分なくらいです。しかし、その人たち同士の間が少なく、それぞれが点々で活躍している印象で、新しい



ものや人が生まれづらい気がしていました。僕は以前、田村でファブラボを作りたいと言っていました。が、「イノベーションを起こせるようなコミュニケーションの基点となったら良いな」なんて思っていました。ちなみにファブラボは、子供を中心に新しいもの（機械等）に触れたり、考えさせる、をテーマにワークショップから始めています。（写真はワークショップ時のもの）方向性など定めているところですが、意味のある施設・空間を作りたく日々考えています。

ファブラボのその先には、思考し続ける力・自分の軸を持った力・何かを成し遂げる力等を持った人が田村から出てくれたらうれしいなと思っています。

No. 127 海を越えて 英語指導助手ペンリレー



アントニオ・ラミレスさん
アメリカ合衆国イリノイ州出身
(田村市に来て2年目)

メキシコの誕生日パーティー

2月といえば「バレンタイン」を思い浮かべると思いますが、私は「節分」です。なぜなら私の誕生日と同じ日だからです。生徒には、節分生まれの私に鬼だけど豆をぶつけるのは控えるように言います。私はイリノイ州のシカゴ市で生まれ育ちましたが、両親は成人してから仕事を探すためアメリカに移住したので、私はメキシコ文化に深く根差しています。このため私はスペイン語で話したり読んだりしますし、多くのメキシコの習慣に従っています。

ここからは、メキシコの誕生日パーティーについて書きまします。子どもたちの誕生日パーティーでは、ピニャータをたたいて割ります。ピニャータとは、中にお菓子などを詰めた紙製のくす玉人形です。ピニャータが割れると、多くのお菓子を拾おうと子どもたちが集まります。



メキシコの誕生日パーティーでは、いつもメキシコ音楽が流れて、子どもたちはさまざまな料理を楽しみます。ですが、誕生日の子どもがケーキの上のろうそくを吹き消す時、私が好きではない伝統が行われます。ケーキを切り分ける前、参加者がケーキを一口食べるように求められますが、それをしようとすると、誰かが素早くその人の顔をケーキに押し付けるのです。それが楽しいという人もいますが、ケーキが散らかりもつたいため、大人になってから私はその伝統に参加しないようにしています。

皆さんには、ぜひメキシコ人の友人を作って誕生日パーティーに参加してもらいたいです。誰かが誕生日ケーキの最初の一口を食べさせなければ、素晴らしい時間を過ごして、忘れられない楽しい思い出がでることでしょう。